第12回KBC学園杯争奪 第25回沖縄県中学校新人軟式野球大会 大会要項

- 1. 主2. 共 沖縄県野球連盟
- 催 沖縄タイムス社
- 3. 協 学校法人KBC学園グループ 賛
- 援 南城市教育委員会 今帰仁村教育委員会 恩納村教育委員会 糸満市教育委員会 4. 後
- 令和3年12月26日(日)~ 27日(月) 25日(土) 開会式 今大会は行わない。 予備日28日(火) 5. 期 日
- 25 日(十) 6. 日 程

- 監督会 17:30 21 日(火) (オンライン)
- 1 回戦・2 回戦 競技開始 26 日(日) 9:00
- 準決勝・決勝・閉会式 27日(月) 競技開始 9:00
- 南城市新開球場 今帰仁中学校 うんな中学校 場 26 日(日) 7. 会 三和中学校
 - 27日(月) 南城市新開球場
 - ※大会運営上、日程変更や会場を変更または移動しての試合もあり得る。
- (1)沖縄県内の中学校に在籍する1・2年生の生徒で編成されたチームで各地区の代表となった 8. 参加資格 チームとする。なお、1校1チームとする。
 - (2) 硬式ボールを使用球としている団体に所属しているチームとその構成員の出場は認めない。

 - (2) 硬式ホールを使用球としている団体に所属しているデームとその構成員の出場は認めない。
 (3) 1 チームは選手 2 0 名、監督 1 名、コーチ 2 名、記録員 1 名の計 2 4 名以内とする。
 (4) 選手の引率、監督は出場校の校長・教職員・部活動指導員とする。教員以外のコーチについては学校長が認めた者で、地区・県に登録された者とする。但しベンチ入りについては 1 名のみとする
 (5) 参加資格の特例を認める。「開催基準 8 (6) 複数合同チーム」

 - (6)県・地区中体連の規定及び各学校の規則に沿った中学生らしい身なり・容姿で参加する。 (7) 九州大会への代表権を獲得した場合は、県代表としての自覚と責任を持ち、九州大大会へ参加 できる学校であること。
- 9. 出場チーム

県内7地区代表16チーム

地	区	国頭	中頭	那覇	久米島	島尻	宮 古	八重山	計
割	当数	2	4	3	1	2	2	2	1 6

- (1) 2021 年公認野球規則及び全日本軟式野球連盟競技者必携、本大会競技規則・特別規則に則って行う。 (2) 競技方法はトーナメント方式とする。 (3) 試合は7回戦とし、得点差によるコールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差とする。また、 10. 競技規則

 - 降雨のコールドゲームについては全試合5回以降成立とする。日没・降雨などで試合が成立し
 - では全試合も回以降成立とする。「役・降的などで試合が成立しない場合は、特別継続試合を適用する。(サスペンデッドゲーム) (4) 7回を完了して同点の場合は、タイブレーク方式とする。(継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁の走者とする。すなわち0アウトー・二塁の状態にして投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決定するまで続行する。 ※天候のおうで日程変更や球場の変更がある場合は、本部で協議の上、特別ルールを設定する。

 - (5)背番号は1~20番を使用し、原則としてポジション順とする。(6)投手の投球制限及び試合のスピード化に関する事項について適用する。
- 11. 使 用 球 全日本軟式野球連盟公認内外ボール M 号球とする。
- 令和3年12月9日(木)コザしんきんスタジアム会議室において本部抽選により決定し、後日、 12. 組み合わせ 沖縄県中学校野球専門部 HP (https://okifffbb.web.fc2.com/)にて発表する。
- (1)優勝校には優勝旗、優勝盾、賞状を授与する。 13. 表
 - (2) 準優勝校には準優勝盾、賞状を授与する。
 - (3) 3 位表彰も行う。
- (1)出場資格を得たチームは、沖縄県中学校野球専門部 HP (https://okifffbb.web.fc2.com/)より所定の 14. 参加申し込み 大会申込用紙に必要事項を記入し捺印を受け、大会参加料1万円を添えて12月9日(木)までに 羽地中学校へ直接持参するか、郵送で申し込む。なお、大会冊子用データを下記のアドレスに 12月7日 (火) までにメール送信すること。 **(okifffbb2007@yahoo.co.jp)** (2)選手変更届は、沖縄県中学校野球専門部 HP よりダウンロードし、校印を押印して原本 1 部・
 - コピー2部を初日の会場の球場長に提出する。 申込先】 〒905-0011 沖縄県名護市字仲尾次770番地 名護市立羽地中学校

【申込先】 沖縄県中学校体育連盟野球専門部長 米田 善行 宛

- 15. 旅費宿泊費 本大会における旅費・宿泊費はすべて参加チームの負担とする。
- 16. その他
- (1)チームの責任は、引率者において、一切負うものとする。(2)大会出場中の選手の傷害は、大会本部において応急処置を行い、後は各学校で処理する。

 - (3)大会参加の際、健康保険証のコピーを持参すること。 (4)優勝チームには第19回九州中学生選抜軟式野球大会(令和4年3月19日、20日熊本県開催)への 出場資格を与える。
 - (5)第13回全日本少年春季軟式野球大会日本生命トーナメント沖縄県予選の優勝チームが今大会で優 勝した場合、上位大会の全国大会と九州大会の日程が同月の場合、準優勝チームに九州選抜大会への 出場資格を与える。

第12回KBC学園杯争奪 第25回沖縄県中学校新人軟式野球大会 特別規則

- 1. 試合時間 試合は1時間30分と計算し、その60分前までには集合する。
- 2. オーダー交換
 - (1) オーダー用紙は大会本部の用紙を使用する。(5部提出) (2) 攻守決定は、前の試合の4イニング終了時(第1試合は試合開始45分前)に監督立ち会いの上、主将が行う。但し、連続試合で先発投手が主将の場合は、登録メンバーから代理を認める。(3) 全試合終了後、勝利校の校歌斉唱を行う。参加校は校歌のCD(1番のみ)をオーダー交換時に提出する。(シートノック時に流す。)
- 3. ダッグアウト (1)抽選番号の若い方が1塁側とする。但し、同一チームが連続して試合を行う場合は移動しない。 登録された監督、コーチ、選手、記録員以外のベンチ入りは禁止する。 (2)ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止。

 - (3) ダッグアウト内でのメガホン使用は監督、コーチのみとする。(ベンチ内1個とする。)
- 4. シートノック (1)シートノックは、1回戦と準決勝のみ後攻より行う。時間は5分間とする。但し、天候の理由 からシートノックを行わない場合もある。
 - (2)シートノック時の補助員はヘルメットを着用すること。なお、ユニフォームを着用した登録外
 - の生徒 (5名以内) を認める。 (3) ノッカーは、ユニフォームを着用する。
- (1)中学生にふさわしい応援をする。(2)応援は攻撃側のチームが優先に行う 援 5. 応
 - ※声を出しての応援やハイタッチなどの接触は行わない。また、スタンドではソーシャルディ スタンスを確保して着席する。
- (1)マスコットバット、バットリング、鉄棒、公認球以外のボール等、試合で使用しないものは球場 具 6. 用
 - 内への持ち込みを禁止する。 (2) 手袋・リストガードは、原則として「白」または「黒」を主にした高校野球対応の手袋を使用する。

 - (3)ストッキングの形をしっかりと統一する。 (4)全日本軟式野球連盟公認マーク (J.S.B.B.) が完全に消えた用具は使用できない。
 - (5) 捕手は全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が入った捕手用ヘルメット・マスク(スロートガード付)・プロテクター・レガーズとファウルカップを使用すること。また、打者・走者・ 次打者・ベースコーチ・バットボーイは全日本軟式野球連盟公認マーク(J.S.B.B.)が入った両側にイヤーフラップ(内側にはスポンジ等)のついたヘルメットを使用すること。
 - ※ヘルメット (捕手用含む) は SG マークのついたものとする。マスクは 2022 年から義務化。
- 7. 試合のスピード化 (1)ベースコーチ・打者・次打者の4名は攻撃前のミーティングには参加せず、所定の場所に移動
 - (2) 投球を受けた捕手は、速やかに投手に返球すること。

 - (3) 捕手から返球を受けた投手は、速やかに投手板を踏んで投球姿勢をとること。 (4) 次打者席では、投手が投球姿勢に入ったら素振りをしてはならない。投手も必ず次打者席に入 ること。 (5) サイン交換は迅速に行うこと。打者はバッターボックス内でサインを見ること。
- 8. そのの他(1)チームの選手(監督・コーチ含む)は同色、同形のユニフォームを着用する。尚、監督・コーチの シューズについても同色とする。(シューズ・スパイクにおいては色の混在を認める。なお、高校 野球対応のものとする) コーチ(教職員)の服装は平服(白を基調としたポロシャツ・同一の野球帽)とする。但しノックをする者はユニフォーム着用のこと。また、記録員はユニフォームか制服 とする。

 - (2)選手交代は、監督が球審に告げること。 (3) 球場内でのアップは、チーム統一のTシャツでもよい。ただし、シートノックからは試合用ユニフォームとする。
 - (4) 芝生保護のため各球場において正規のシートノック以外はスパイク以外で行うこと。

 - (5)試合中のアップ (キャッチボール) については2組 (4名以内) とする。 (6)各チームのゴミは必ず責任を持って持ち帰る。最終試合の両チームは、ダッグアウト、スタンドを 清掃する。

 - (7) 投手が投球動作を開始したら、投手の動揺を誘うような声を発しない。 (8) 大会参加者及び関係者は、新型コロナ感染症対策として別に定めるガイドラインを遵守し、必要 書類を提出して大会に参加してください。